

第38期

第2四半期株主通信

2017年1月1日～2017年6月30日

# IR Report



# グループの一体化をいっそうはかり 国際総合フレイトフォワードナーとして更なる躍進

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社グループは、第3次中期経営計画（2017年1月～2019年12月）の目標として掲げる  
国際総合フレイトフォワードナーとしての成長と数年内の売上高300億円達成に向け、  
グループの総力を挙げて取組んでおります。

## 2017年度上半期の市場動向

国内経済はGDPのプラス成長が続き、好調な企業収益や消費者マインドの改善などを背景に個人消費も持ち直しの動きが見られます。世界経済についても中国や米国の政治・経済動向に不透明感が残るものの、世界的なIT需要の拡大や設備投資の回復を受けた輸出の増加などにより、景気回復基調が続くと見込まれます。また、当社業績に大きな影響がある貿易についても、輸出、輸入とも対前年比増加傾向にあり、特に中国、アジア向けの輸出の持ち直しが顕著な状況です。

## 当第2四半期の業績

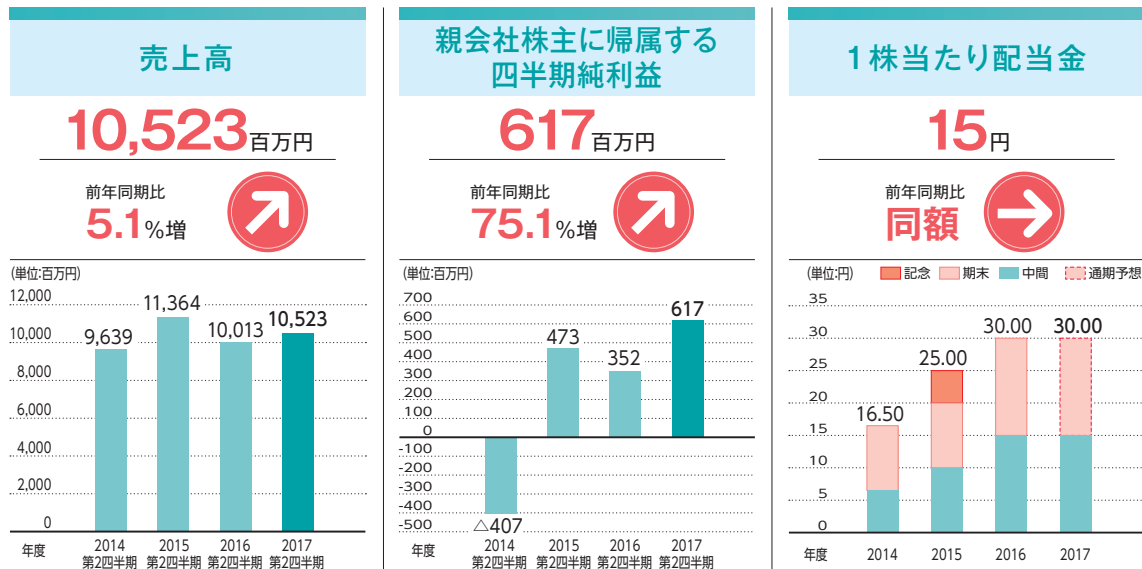
このような中、当社グループの実績は、単体では、主軸の輸出混載輸送の取扱量、売上高とも増収増益となり、また国内子会社のユーシーアイエアフレイトジャパン、フライングフィッシュ、および海外子会社の内外銀山ロジスティクスの利益が計画を上回って推移したことにより、増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は105億23百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は7億18百万円(同24.4%増)、経常利益は7億48百万円(同46.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億17百万円(同75.1%増)と、売上高、利益とも前年同期を上回りました。



# 連結財務指標

## 当四半期の業績 (2017年1月~6月)



(注) 2015年6月末日を基準日として1:2の株式分割を実施、上記の1株当たり配当金は分割後配当額を表示しております。

## キャッシュ・フロー指標

(単位: 百万円)

	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	328	691	377	710
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	36	△702	80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153	130	1,522	△154
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,814	5,585	5,445	5,101

## 資産関連指標

(単位: 百万円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 第2四半期
総資産	9,166	8,863	9,393	9,938
純資産	6,977	6,786	6,856	7,318
自己資本比率 (%)	75.1	72.7	68.6	69.3

## 1株当たり指標

(単位: 円)

	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	△38.10	44.30	36.34	63.63

(注) 2015年6月末日を基準日として1:2の株式分割を実施、上記金額は分割後の1株当たり四半期純利益を記載しております。

### 独自のフォワーダー事業で躍進

株式会社ユーシーエアフレイトジャパンは国際航空海上輸送事業を展開しており、2012年4月に内外トランスライングループ入りして以降、国際航空海上フォワーダーとして順調に成長を続けています。社長の中屋正人に事業の現状と目指す方向性について聞きました。



#### —— 事業概要について教えてください。

1989年の設立以来、安全、確実、迅速を経営方針とし、各顧客のニーズに最も適したサービスを提供し、国際航空輸送、国際海上輸送事業で成長を遂げてきました。また、全国で約150社しかないIATA(国際航空運送協会)公認貨物代理店であり、国土交通省より海上、航空の第二種貨物利用運送事業免許も取得しており、さらにRA(特定航空貨物利用運送事業者)の認定も受け、事業を行っています。

設立当初より北米、EU諸国、中国をはじめとするアジア諸国、さらには南米諸国へと海外代理店ネットワークを広げ、顧客からお預りした貨物をドアツードアで運ぶ国際一貫輸送事業に注力しておりアジア地域、とくに中国、インド、スリランカ、バングラデシュ、カンボジア、ミャンマーとの間で航空、海上輸出入ともに取扱量を伸ばしています。

当社の強みは輸出先代理店との提携による一貫輸送で、カンボジアやミャンマーに生産工場を展開されている顧客の資材を日本又は第三国から輸送し、現地での輸入通関及び工場までの配送、また、製品完成後の日本への輸入若しくは第三国への輸送を顧客の納期にあわせて航空、海上で行っています。近年はタイでの資材調達が多く、タイからトラックでカンボジア、ミャンマーにクロスボーダー輸送を行っています。

#### —— 国際航空輸送事業の特長は。

航空貨物として輸送される貨物は、魚、花、野菜、肉等の生鮮貨物、衣類等の一般貨物でも納期に間に合わせるため海上から航空に輸送手段を変更する貨物、長期の海上輸送による振動、湿気、温度による変形等を避けるために航空で輸送する貨物、高級時計、宝石等の小型で高価な貨物があります。また、近年では1時間でも早く海外の購買者に届けることが求められているeコマース(電子商取引)関連の貨物があります。



当社は航空輸出として繊維資材、船用品(船舶において使用するもの)、機械部品等、種々様々な貨物を取扱っています。輸入においては衣類、生鮮食品等を主に取扱っており、関西国際空港及び成田国際空港内に拠点を構え生鮮食品の通関に精通した通関士により時間外の緊急の対応にもお応えできる体制を築いています。



#### —— 国際海上輸送事業についてはいかがですか。

海上輸送、航空輸送の両サービスを利用して頂いている顧客が多く、海上チームと航空チームが連携して海上輸送の一部を航空に変更する場合や、航空輸送を全て海上へ切り替える場合等にも臨機応変に対応しています。

当社の海上輸出の特色は神戸港からスリランカのコロombo港、大阪港からカンボジアのシアヌークビル港への輸出混載サービスの提供を行っていることで、コロombo港向け混載については15年以上の歴史があります。スリランカは日本との友好国で日本からのODA貨物、繊維や工業資材、近年では日本食レストラン向けに食材、日本酒等の貨物を毎週輸送しています。輸入においてはカンボジアのプノンペン港から大阪港までの輸入混載サービスを提供しています。

どの混載サービスも安全、確実、迅速の当社経営方針に基づいて、直航サービスで最速の到着を提供しています。

#### —— 内外トランスライングループの一員として今後どのような方向性を目指していきましょうか。

グループ入りしてから、関西国際空港、成田国際空港内に営業所を開設し、両営業所とも通関免許の認定を受けることができました。

業績も順調に伸びており、とくに航空輸送については物流のグローバル化、eコマースの進展に伴い、今後ますます輸送量が増えることが期待されており、更なる品質の高い航空海上輸出入一貫輸送サービスの提供によりグループの成長に貢献していきます。



#### 〈会社概要〉

社 名：株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン  
本社所在地：大阪市中央区安土町3丁目5-12  
設 立：1989年8月  
拠 点：大阪営業所(海上貨物)  
南港営業所(航空貨物)  
関空営業所(航空貨物・通関)  
東京営業所(海上貨物)  
成田営業所(航空貨物・通関)

# 会社概要

## 会社概要

2017年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	
設立	1980年 5月 1日	
代表取締役社長	常多 晃	
従業員数	586名(連結)	
資本金	243,937,240円	
上場市場	東京証券取引所市場第一部	
加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会 (JIFFA) 日本貿易振興機構 (JETRO) 大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所 横浜商工会議所 福岡商工会議所 東京通関業会 横浜通関業会	

## 役員一覧

2017年6月30日現在

代表取締役会長	戸田 徹
代表取締役社長	常多 晃
専務取締役	大川 友子
取締役	田中 俊光
取締役	三根 英樹
取締役	戸田 幸子
取締役	太田 達雄
社外取締役	武井 眞哉
社外取締役	伊藤 嘉章
常勤監査役	長谷川 豊
社外監査役	川崎 裕朗
社外監査役	敏 森 廣光

## 株式の状況

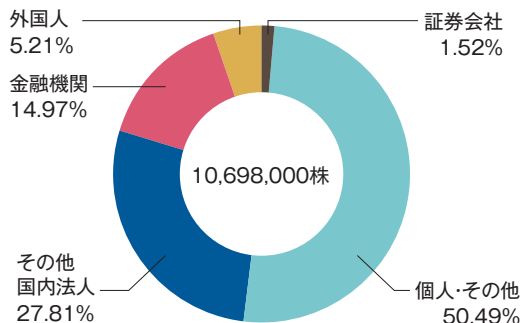
2017年6月30日現在

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,698,000株
株主数	10,214名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
合同会社エーエステイ	2,121,800	19.83
内外トランスライン株式会社	1,000,988	9.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	626,800	5.86
内外トランスライン従業員持株会	383,900	3.59
戸田 徹	314,900	2.94
株式会社みずほ銀行	280,000	2.62
株式会社ときわそば	250,400	2.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	242,400	2.27
日章トランス株式会社	232,000	2.17
トランコム株式会社	220,000	2.06

## 所有者別分布状況



## 国内事業所

2017年6月30日現在

### 本社

(大阪市中央区安土町三丁目5番12号)  
御堂筋安土町ビル 3階

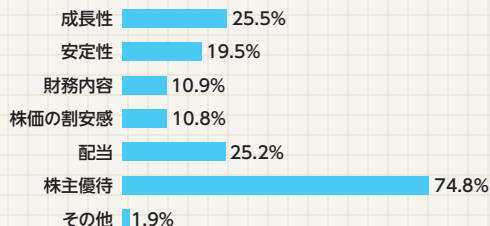
東京支店  
横浜支店  
名古屋支店  
神戸支店  
福岡営業所

# 株主アンケート結果のご報告

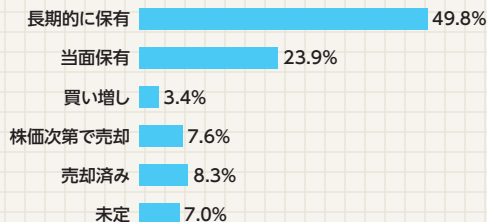


2016年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の95.3%に当たる13,397名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告させていただきます。

## 質問1 当社株式の購入理由(複数回答)



## 質問2 今後の方針



## ▶ 株主様の声 (一部)

投資家向け説明会の開催を拡大してほしい。(50代男性)

IR Reportは親しみやすい文章で好感が持てます。(40代女性)

第3次中期経営計画に大いに期待しています。(50代女性)

## 優待品ご紹介

ご好評をいただいております株主様ご優待。前回(2016年12月期)、特に人気の高かった商品をご紹介します。

### 1,500円相当分



ウェルチギフト



全国繁盛店ラーメン6食セット

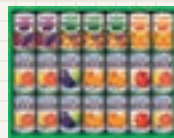


日清ヘルシーオイル ギフトセット



京竹風庵 想

### 2,500円相当分



カゴメ フルーツ&野菜飲料ギフト



新潟県岩船産こしひかり特別栽培米3kg



爽快生活プレミアムセレクトギフト



北海道十勝牛しぐれ

※2015年7月1日付株式分割に伴い、2015年12月期末より、株主優待制度の内容を次のとおり変更させていただきました。

保有株式数に応じて商品(カタログより選択)または社会貢献団体へ寄付

◆100株以上200株未満 **1,500円**相当 ◆200株以上4,000株未満 **2,500円**相当 ◆4,000株以上 **5,000円**相当

## 株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
<http://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所市場第一部

証券コード：9384

お問合せ先：〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4  
みずほ信託銀行 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

お取扱店：みずほ証券

本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)  
でもお取扱いいたします。

みずほ信託銀行

本店および全国各支店  
\*トラストラウンジではお取扱いできませんので  
ご了承ください。

未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店

(みずほ証券では取次のみとなります)

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、上記のお取扱店にてお取次いたします。  
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



### 表紙写真：シアヌークビル港

シアヌークビルはカンボジア南部のタイランド湾に面した港湾都市であり、シアヌークビル港はカンボジア唯一の国際港湾です。1990年代後半から活発な開発が行われ、コンテナ取扱量が増加しています。

 内外トランスライン株式会社

〒541-0052 大阪市中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル3階  
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4719

